

2025 年を振り返る一トルコ編

新井 春美

インターネットのニュースサイト *Türkiye Gazetesi* は、2025 年に話題になったニュースとして以下をリストアップしているので、一年を振り返る材料として一部をご紹介したい¹。

◇事件・事故

- ・1月 軍の C-130 輸送機がジョージア・アゼルバイジャン国境で墜落し兵士 20 人が殉職。
- ・1月 イスタンブル近郊のホテルで発生した火災で 78 人が死亡、133 人が負傷。
- ・1月 イスタンブルで 15 歳の少年が 14 歳から 17 歳の少年 4 人に刺殺された。
被害者と加害者に面識はなく、路上で口論になったのが原因とされる。18 歳未満の犯罪をどのように判断するのか注目が集まつたが、2 人には懲役 24 年、2 人は無罪の判定が下された。
- ・9月 歌手のギュルリュさんが窓から転落し不審死。
- ・10月 インフルエンサー、俳優、歌手などの有名人を対象とした麻薬捜査が開始、検査で 8 人が陽性反応を示した。
- ・11月 北西部コジヤエリ県の化粧品工場で火災が発生、7 人が死亡、7 人が負傷。過失が発覚し、工場主ら容疑者 3 人が拘束された。
- ・12月 イスタンブル検察庁が大規模な違法賭博捜査を開始。サッカー選手 20 人が逮捕された。

◇政治

- ・5月 収監中のオジャラン元指導者の呼びかけにより PKK（クルディスタン労働者党）が解散を宣言、象徴的な武器焼却式典を実施。2024 年から始まった「テロのないトルコ」プロセスが進展していることが示しされた。
- ・3月 「イマモール営利犯罪組織」捜査の一環として、大イスタンブル市 (İstanbul Büyük Belediye) のイマモール前市長ら、407 人の容疑者（うち 105 人が拘留中）に対する起訴状が受理された。イマモール前市長の罪状は、「犯罪の意図を持って組織を結成した」「個人情報を記録した」「個人情報を入手し流布した」「犯罪の証拠を隠蔽した」「通信を妨害した」「公共の財産を損壊した」「賄賂を贈った」「誤解を招く情報を流布した」「恐喝した」「公的機関に対する詐欺行為」「犯罪で得た資産の洗浄」「不正入札」および「環境を故意に汚染した」などで、合計 849 年から 2,430 年 6 か月の求刑。



武器焼却式典での PKK メンバー
(Middle East Eye 2025.7.11)

- ・5月 CHP（共和人民党）のオゼル党首が、路上で近づいてきた男に顔を殴られた。容疑者は自身の子供を殺害したとして服役、仮出所中だった。
- ・9月 イスタンブル第45民事第一裁判所が、CHPのイスタンブル県大会で不正投票があったとして、選出された議長と執行委員会の職務を暫定的に停止する判決を下した。

イマモール前市長関連のニュースは連日、報道されているが、前市長はエルドアン大統領の最大のライバルと見られていただけに、政治的圧力としての収賄捜査と逮捕といってよいだろう。

また、オゼル党首の前任者も襲撃されており、野党政治家の護衛に問題があるとも指摘されている。



イマモール氏の逮捕に抗議をする市民たち（上）
排除しようとする警官隊（下）
(CNN 2025.3.24)

◇地震

4月 マルマラ地方でマグニチュード6.2の地震。

8月 マルマラ地方のバルケシル県でマグニチュード6.1の地震。数千回もの余震発生。

◇スポーツ

- ・女子バレー代表チームが、FIVB世界選手権で銀メダルを獲得。
- ・バスケットボール代表チームが、欧州バスケットボール選手権（ユーロバスケット2025）で準優勝。

◇要人訪問

- ・11月 ローマ教皇レオ14世がニケーア（ニカイア、現イズニック）公会議1700周年を記念するため訪問。エルドアン大統領らとも会談。



レオ14世（左）とエルドアン大統領（右）
(Anadolu Ajansi 2025.11.29)

ニケーア公会議は325年に開催され、「イエスは子であるが、父と同じ神であり、神性がある」とする「アタナシウス派」が正統とされ、「イエスは神そのものではなく、父なる神に従属する」という「アリウス派」が異端とされた。トルコ国民の9割はイスラーム教徒だが、今日でも国内にはキリスト教の教会や史跡などが多く存在している。

ⁱ <https://www.turkiyegazetesi.com.tr/gundem/en-cok-bunlari-konustuk-iste-2025e-damga-vuran-olaylar-1757431?s=17>

重要性や読者の投票などによって選ばれたものではなく、あくまで話題になったということである。